

このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
- ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
- ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【投稿・問い合わせ先】
〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎ 294113
☎ 29420
✉ koho@city.isa.lg.jp



5月に誕生日を迎えた母は、98才。我が子3人を育てあげ、今や子や孫、ひ孫の平穩を祈りながら毎日健やかに過ごしている。

先日、近くの公園に「桜見に行くよ」と声をかけると、たどたどしい足取りで身支度を始めた。母の姿を目で追いながら「いつも元気でいてくれてありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいだった。満開の桜を見上げ、きれいやなあ！と笑顔いっぱい母。この幸せがいつまでも続くことを祈る娘でした。

(羽月 H・M 70代)

衣替えの季節になりました。若い人はもう夏服かしら...? ケースから引つ張り出すと、また、いつもの似たような服ばかりが並びます。元号が代わりました。今年の夏こそ敬遠していた服にもチャレンジしてみませんか。年齢はどこかに置いて、明るい色や花柄

にも袖を通してみましょう。案外似合ったりして...すると違う自分や新しい自分が見つかるかもかもしれません。

ひよっとして恋も... (本城 ほかさんといて 60代)

今年も、孫3太郎のこいのぼりと名前旗が無事、立派にありました。3つ並んだ旗は圧巻ですね。伊佐市内のこいのぼり、なんだか今年は少ないような...。子どもたちの笑顔と健やかな成長を願って、伊佐市にたくさんさんのこいのぼりがあがってほしいです。(大口 シーラカンス 60代)

H・Mさん、お母さまとのほっこりするお話ですね。皆さんは、父母に日頃の感謝の気持ちをどのように伝えていきますか？私は気恥ずかしくて、なかなか...笑 お便りお待ちしております。



人口のうごき (住民基本台帳から)

R1.5.1 現在 (前月比)

総人口	25,791人	(-116)
男	11,982人	(-76)
女	13,809人	(-40)
世帯数	13,462世帯	(+7)



編集後記

先日の大きな地震には驚きました。震源が日向灘ときいて、南海トラフが頭をよぎりドキリとしました。最近では地震の直前に緊急地震速報のアラームが鳴るおかげで、数秒間の身構える時間があり、少し心の余裕が持てます。ともあれ被害がなくて本当によかったです。

今月号の特集は、「防災」です。夏にかけて豪雨や台風などの影響で、土砂崩れや河川の氾濫などが発生しやすくなります。大規模地震もいつ発生するかわかりません。

東北には「命でんでんこ」という言葉があります。いざとなれば、自分の命は自分で守りなさいという教訓です。日頃から防災・減災に関心をもって、もしもの事態に備える心構えにしていれば幸いです。